



日本共産党区議会議員
伊藤和彦です

自宅・足立区花畑6-7-23
足立区役所・電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党議員団・直通・3880-5770~1
http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html

医療・介護、貧困と格差是正など 区民の願いまとめた要望1027項目

区長に来年度予算要望を 提出、日本共産党区議会議員団

日本共産党足立区議団は、近藤やよい足立区長に対し、九月二十八日、1027項目の来年度予算要望を提出しました。重点要望は来年四月実施予定の後期高齢者医療負担増や給付削減に対して負担軽減策や医療の充実策、介護報酬が低くてヘルパーなど介護職員が不足している問題の改善、青年雇用対策、

竹ノ塚駅鉄道高架化の促進、無料妊婦健診の拡充などを求めました。教育分野では、学力テストの結果公表と予算に格差をつけることの中止、35人学級などの実現を求めました。この要望書は区民十万人世帯にアンケートを無作為に配布し寄せられた区民の願いや区内各団体との予算要望懇談会に寄せられた切実な意見などを集約して作成したものです。



近藤区長に申し入れる共産党区議団 9月28日

近藤区長は、「無料妊婦健診の回数増は前倒しして実施したい」「学力テスト問題は噴出した教育の現場の声をよく聞いて改善したい」とのべました。

地元要求など
予算要望書にもりこまれた地域からの要望は以下のとおりです。

● 公団に関すること① 公営

花畑北部区画整理

仮換地指定すすむ、
移転は136棟

花畑北部区画整理審議会(第118回)が十月三日に開かれ、仮換地指定(19回)が示されました。

平成20年十月までに、136棟の指定を決めました。
花畑第一小学



校の西側周辺と花畑6丁目、2丁目の花畑街道周辺です。

会議では高架線下の土地の取り扱いはについてやアスベストがある建物撤去について話がありました。また区画整理後に既存の生コン工場拡大したため、大型車の通行、駐車場などで住民から苦情が出ている問題で、「住宅専用地域の用途地域に工場があることは不適格になる」と都が答弁しました。

住宅としての役割を果たすよう国に求めること。②住宅の原価償却を基準に決められている家賃については、建物の老朽化も考慮し、安易に繰り返し値上げをしないよう関係機関に要請すること。

●電線の地中化について①電線の共同溝化をすすめるなど、歩道の拡幅を確保し、障害者・車イスが安心して通行できるようにすること。旧日光街道の西保木間1丁目から4丁目の間。

●コミュニティバス路線にすること。①都営桑袋団地から花畑団地経由で区民事務所や病院、竹ノ塚駅行きの路線。②西保木間と花畑などから竹ノ塚駅、花畑区民事務所、各住区センターを経由する路線。●まちづくり、交通安全について①第一種住居地域に用途地

城違反の工場に対し、住環境を守る立場から指導すること。花畑2丁目生コン工場のために、大型車通行、騒音、振動など住民からの苦情が寄せられているので改善すること。②竹ノ塚駅東口側の駐輪場を増設すること。③竹ノ塚立体駐車場利用のため渋滞で地元住民や歩行者・自転車通行に支障をきたしているのを整理員を常駐させるなど安全対策を事業者に指導すること。

●野良ネコ対策は動物愛護の立場から、①えさを与える区民に「餌をくださるのはいけません」と、餌の後始末、去勢や不妊手術、フンや尿の後始末、不幸なネコを増やさない、ご近所に迷惑を「かけない」という、目黒区、港区のような啓発看板を設置すること。②ネコの去勢手術への助成を増やすこと。

学力テスト

不正の背景に区教委の圧力

共産党質問に教育長答弁



学力テスト問題など区政報告をする伊藤区議

足立区の学力テストをめぐる問題で区議会・決算委員会(十月四日)で、日本共産党議員が、競争をおおってきた区教育委員会の責任を追究しました。斎藤幸枝教育長は教育委員会の学校現場への圧力が不正につながった可能性を認めました。

昨年実施した足立区の学力テストでは、1位となった小学校で、学校長と教職員がテスト中、教室を回

り誤答を指差すとか、前年の問題をコピーし、繰り返し練習させるなどの不正行為が明らかとなっています。この不正を受けて、区教育委員会は十月一日、学校間の過度な競争をおおるとして父母や教育関係者から批判の強かった、学校順位をつけてテスト結果を表すことや、正答率にする方針を撤回することを決めています。

日本共産党は、過去のテスト問題や類似した問題を授業や宿題で行うことを各学校に参考として示すなど、区教委が学力テストの成績を上げるための対策を推進してきたことを取り上げていただきました。

「競争」が始まると、教育改革先進区として他区に先駆けて矢継ぎ早に「教育改革」をすすめてきました。学校規模適正化の名のもとに学校統廃合、区独自の学力テスト、学校選択制、民間活力の導入といった五反野小学校にベネッセ(教育企業)から民間校長就任、教育予算の差別化など、国の「教育改革」を先取りして学校現場に競争を持ち込み、東京都のいっせい学力テストの結果の公表で、「23区中23位のショック」が加わり、区教委は「学力向上」と言ってテスト対策をエスカレートさせてきました。議会では自民党など与党議員がそれに拍車をかけ、あおってきたことを指摘しました。

「学力テストの結果にシフトした教育は「不正」というより、学校教育そのものを変質させ、学力

「学力向上」をテーマにあらたに「競争」が始まり、教育改革先進区として他区に先駆けて矢継ぎ早に「教育改革」をすすめてきました。学校規模適正化の名のもとに学校統廃合、区独自の学力テスト、学校選択制、民間活力の導入といった五反野小学校にベネッセ(教育企業)から民間校長就任、教育予算の差別化など、国の「教育改革」を先取りして学校現場に競争を持ち込み、東京都のいっせい学力テストの結果の公表で、「23区中23位のショック」が加わり、区教委は「学力向上」と言ってテスト対策をエスカレートさせてきました。議会では自民党など与党議員がそれに拍車をかけ、あおってきたことを指摘しました。

公団住宅 (UR賃貸住宅) 削減計画

建て替え事業の大幅減少で花畑団地に影響 (06年「削減売却案」・都市再生機構)



都市再生機構(略称UR・旧住宅公団)が賃貸住宅20万戸の削減計画を内部で作成・検討している問題で、①全面建て替え団地を当初の計画の約8万戸から約3.1万戸(45団地)に大幅減少が打ち出されています。東京では花畑団地(2725戸)、南台団地(東村山・314戸)が建て替えが対象外になり、赤羽台など16団地・約1万2千戸が全面建て替え団地になるとしています。②一部建て替え団地、当初計画約12.5万戸から約8万4千戸に減少、東京では神代団地(調布)など12団地。約1万600戸が一部建て替え対象。竹の塚第一、竹の塚第二、竹の塚第三、栗原、江北6丁目も対象。都市機構は全借市街地住宅といって底地はURのものでないの10年後「譲渡、売却」の方向。足立区の北千住(36戸)、千住仲町、竹の塚駅前(96戸)、新田2丁目も対象になっています。

テストの点数を上げるものとなっていった」として教育委員会としての責任を明らかにするよう求めました。

「必要以上のプレッシャーが不正につながる」これに対し、斎藤教育長は「学力向上対策は足立区と答弁しました。」